

## 令和4年度 第2回釜石市立鶴住居公民館運営審議会 開催結果

- 1 開催日時 令和5年2月20日(月) 13:30~14:35
- 2 開催場所 鶴住居公民館 多目的室
- 3 出席委員 7名(小山士委員長、三浦紘子副委員長、佐藤一成委員、佃拓生委員、澤本和子委員、瀬戸保子委員、山口未来委員)
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局等 4名 鶴住居公民館 松下隆一館長、芳賀佳歩保健師  
まちづくり課 佐々木薫主幹兼生涯学習係長、浦城太郎主任
- 6 傍聴者 なし

### 7 結果

- (1) 松下館長から本日の審議会について、委員7名中7名が出席しており、釜石市立公民館規則第10条第3項に基づき、会議が成立していることを宣言。
- (2) 本会議の議長は、釜石市立公民館規則第9条第1項に基づき、小山委員長にお願いし、小山委員長が議事進行を行い、令和4年度釜石市立鶴住居公民館事業の実施結果、令和5年度釜石市立鶴住居公民館事業の概要についてなどを協議の結果、すべて承認された。

### 8 内容

#### (1) あいさつ

- ① 釜石市市民生活部次長兼まちづくり課長 平野敏也

代理 まちづくり課主幹兼生涯学習係長 佐々木薫

みなさまお疲れ様でございます。

紹介ありましたが、本来であれば、当市のまちづくり課 課長の平野が参りまして、皆様にご挨拶を申し上げるところなんですけど、ちょっと別の会議と重なってしまいましたので、私の方から一言だけ、ご挨拶を申し上げたいと思います。

委員の皆様におかれましては、日頃から当市生涯学習の推進にご協力いただき、本当に感謝しているところです。

公民館事業につきましても、さまざまなメニューが実施されているところですが、先日、実は2月13日に、釜石市議会の全員協議会という議員さんが集まってやる会がございました。

その中で、生涯学習の推進計画についてお諮りしたところだったんですけども、その中に公民館の事業について、議員さんの方からご意見がありまして、市内にある公民館、8つあるんですけど、その8つだけではなく、いろんな地区があるので、その地区

に出向いて、出前公民館的な事業も実施して行ったらどうなんだろうかっていう、ご質問、ご意見があったところです。

鵜住居地区においても、健康講座ですか、各地区でやっていたり、100歳体操なんかもやられているところではありますが、そういったことも、今後検討していければなどというふう感じたところです。

また、今度3月5日には、地震津波の避難訓練が全市を上げて開催されます。

ここ鵜住居地区でも、拠点避難所の運営ですとか、自衛隊の給水訓練が行われると伺っております。

各小中学校さんにおかれましても、特に鵜住居地区においては、復興教育、防災教育に力を入れて取り組んでいただいているところですので、地域の方、それと親御さん、子供たち。みんなひとつになって、こういう動きができればいいのかなというふうに期待しているところです。

本日は、次年度の事業に向けて、本年度の報告を踏まえて、今後こうしていったらいんじゃないかなっていうご意見を、前向きなご意見を、ぜひいただきたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

② 釜石市立鵜住居公民館運営審議会委員長 小山士

小山でございます。よろしくお願ひします。

私から一言、委員のみなさまにお願ひがあるんですが、マスコミ等の報道によりますと、特に高齢者の孤立化がすごく多くなってきてると、コロナの関係なのか、何の関係なのかわかりませんが。

それで、一番いい方法は、公民館活動に参加して欲しいと、それをお願いするのが手取り早い方法じゃないかなと。

いろいろ計画を立ててやっており、今年度の結果と来年の計画の説明があるようですが、そこの中で、まず皆さん、参加してない方にできるだけ参加するような、声掛けをしていただきたいと。それをまず、委員の皆さんにお願ひしたいと思います。よろしくお願ひします。

簡単ですがご挨拶に代えさせていただきます。

(2) 協 議

① 令和4年度釜石市立鵜住居公民館事業の実施結果について

松下館長が別添資料「令和4年度 釜石市立鵜住居公民館運営結果」により説明。

**小山委員長** ありがとうございます。

ただいま事務局の方から令和4年度釜石市立鵜住居公民館事業の実施結果について報告がありました。

みなさんから改めて聞きたいことありましたら、ご質問でもいいですし、何かありませんか。

はい、どうぞ。

**佐藤委員** 鵜住居小学校です。お世話になっております。

こんなにたくさん事業を行っていたんだと、改めて資料を見て感じました。

小学生もたくさん関わっていて、特に12月にはこの場所で、ボッチャ交流会、私も参加しましたが、子供たちも地域の方も喜んで、とても意義のある活動だなと思って、今後も続けて欲しいと思ってます。

質問といたしますか、確認なんですけど、最後の12ページの事業評価のところ、子供世代の講座数が、令和3年度15回に対して、6回ってというのは、何かこう、なんとなくコロナ禍からだいぶ抜けて、交流もしはじめてきたんだけど、この数字だったっていう要因、原因は何か。

**松下事務局長** やっている事業数には変わりはないんですけど、東中の学習サポートの回数が前回より減っていることが要因でございます。

今回は夏に3回、冬に3回実施させていただいたんですが、昨年度はもうちょっと冬の方で回数が多かったというところがありましたので、それで回数のところを開きが出ていることになっておりました。

**佐藤委員** 何かの理由で、小学生のものができなかったって感じではないのですね。

**松下事務局長** それは違います。

**佐藤委員** はい、わかりました。ありがとうございます。

**小山委員長** あと、みなさんから何かございませんか。

たくさん事業をしていますが、こんなによく事業をやったなという感じがしますが、この中で、何かこれが良かったなという事業、数や参加人数、そういうことに関係なく、公民館で今後もこういうことを続けていきたいなもの、何かありませんか。人気があるとか、参加者は少ないがすごく良い事業だなとか。

**松下事務局長** すべて良い事業をやっていると思っているんですが。

上期ですね、4月から10月あたりまでですね、公民館の事業に参加していただく方の数がちょっと少ないような状況でございまして、少ない時で、本当に3人、4人しか来ないこともあったりしてですね、本当にこのまま続けていいのかっていうところで、下期ですね、10月、11月あたりからですね、職員みんなでいろいろ話し合いまして、より皆さんに興味のあるメニューを考えたり、周知の方に凄いい力を入れたりしてですね、徐々に、徐々に参加者の数も増えてきておまして、今では常時10名以上は集まるような感じになっております。

今後も、みなさまのニーズに応えるように、魅力的なメニューを考えて事業の方、行っていきたいと考えていました。

1番核になる事業というのが、「あつまれ！鵜住居の杜」っていうところで考えております。こちらの開催にも力を入れておまして、お陰様で最近では好評をいただいております。参加者の数も増えているような状況でございます。

因みに、4月が塩分測定とコロナ予防についての講話で11人、5月が栄養と口腔講話、ベジチェックを行って14人、6月が調理実習で6人、7月が施設見学を行い6人、8月は開催なしで、9月は歯科講話で6人でした。

以降が下期の方に入っていくんですが、10月はボッチャの体験会をして11人、11月は心と体の健康教室とベジチェックで13人、12月は「ともすカフェ」との共

催でスノードーム作りをやって19人、1月は出前講座で語り部の方に昔ばなしを披露してもらって23人というように、徐々に増えている状況でございます。

**小山委員長** 分かりました。

三浦さん、何かありますか。

**三浦副委員長** スポーツ競技に1、2年生の子供さんたちが来て、一緒にやりましたが、私たちも、もう老人の部類に入っているんだけど、みんなと一緒に子供たちを、よそのお孫さんなんだけど、自分の家の孫みたいな感じで楽しくやれて本当に良かったです。

**松下事務局長** 三浦副委員長さんにも、いろいろと事業の方に参加していただいて、本当に助かっています。

先ほど、佐藤校長先生の方からもお話しがりましたが、12月に地域交流会で、ここで小学校1、2年生と地域の方々と、ボッチャ体験会をしたんですが、凄いい、子供さんたちにも好評ですね、ここに週3回くらい、空手で小学生の子供たちが来るんですが、その子供たちからも、凄いい楽しかったのでまたやりたいという話しを、ちよくちよくされていました。

**小山委員長** 澤本さん、何かありますか。

**澤本委員** ボッチャの交流会ですが、12月9日の小学生との。

広報等にも載っていたと思うんですが、実年ひろばで協力をお願いされ、急遽集まった人数でした。

前日あたりに、日向の人たちがコロナワクチンを接種した関係で、急に4人くらい抜けそうになり、人数合わせが大変でした。

でも来てみたら、すごく自分たちにもよい刺激になるというか、そんなに体力も使わないですし、精神が若返って、すごく楽しかったです。

去年よりもスムーズに進んだような感じで、年を重ねるごとによくなってきているのかなと感じています。

**松下事務局長** 実年ひろばの皆様には、組織がしっかりしているので、いろいろと助けていただいて、本当にありがとうございます。

**澤本委員** 子供たち大好きだから、来年からは実年ひろばの活動に入れてもいいよねと、すごく楽しみにしていましたので。

そういう話しが出ていましたので、それに町内会の人たちの手も借りてもいいのかなと感じていました。

**松下事務局長** よろしくお願いいたします。

**小山委員長** 瀬戸委員さん何かありますか。

**瀬戸委員** はい、今話しがあったとおりです。

**小山委員長** 鵜住居と他地域の地域間の交流をやったようだが、資料を見ると、唐丹とか栗橋とか、来年の計画でもあるのだが、市内全域での交流は考えているのか。

**松下事務局長** 釜石市内で、釜石、平田、唐丹のブロックと、中妻、小佐野、甲子のブロックと、あとはここ栗橋のブロックと、3つに分けられていまして、まず同

じブロックの栗橋とやらないと、ほかの地域とやるっていうのは、ちょっと失礼なんじゃないかというところで、まずは栗橋とやって、そのほかに、ほかの地域の公民館と交流というように考えて進めました。

**小山委員長** 唐丹と交流したというのは、何か理由があつてなのか。

**松下事務局長** 折角すぐ近くに三陸鉄道の鵜住居駅があるということで、三鉄を利用してウォーキングをしたいというところでした。

**小山委員長** それですか。なるほど、わかりました。

**三浦副委員長** 結構楽しかったですよ。唐丹に参加しましたけど。楽しかったです。

海岸、海を見るのは、根浜も箱崎も同じなんだけど、それでもやっぱり、土地柄もあつたり、いろんな発見もあつたりで、結構楽しかったですよ。

**松下事務局長** 唐丹の方々が、出迎えと、見送りをしていただいたようです。

**小山委員長** 変わった地区をやると、結構みんな興味があつて、いつもと行く人と違う人が行くかもしれないと思う。理由があつてやったも良かったと思う。

**松下事務局長** また来年度、ほかの地域との交流も考えていきたいと思つていました。

**小山委員長** 大きく見て、公民館同士の交流をもっとやった方が、いろいろと発見できると思うよ。いろいろな別の意味でも。

**松下事務局長** はい、仰るとおりでございます。

**小山委員長** みなさんから何か、あとございませんか。

よろしいですか。

はい、どうぞ。

**山口委員** わんぱく子ども教室の②の方が2人で、すごく面白そうな企画なのにもつたないなと思つて見ていたんですが、このわんぱく子ども教室は鵜住居地区だけに限らず、釜石市内の子供たちも対象なんですか。

**松下事務局長** 一応、各公民館、公民館で事業を展開しているので、基本的に鵜住居の住民を対象にやっているんですが、申し込みがあれば、状況によってはお受けすることもございます。

余裕があれば、積極的に受けるようにはしていました。

**山口委員** 釜石市のLINEでも出て来て、面白そうって思つていたんですが、2人だったのがすごく残念だなと思つて、今見ていました。

**松下事務局長** 一応、4人来る予定だったんですが、当日に2人欠席で、2人になってしまった。

事業の内容的には、凄く楽しそうな、興味のありそうなものだと思つたんですが、なかなか、実験とか学習系っていうのは申し込みが少ないようです。

児童館さんの方にも、申し込みをお願いしたりしたんですが、学校さんの方にもお話しをさせていただいたんですが、やっぱりなかなかですね・・・。

夏の工作、アロマワックスバーづくりの時は、すぐに10人の枠が埋まったんですが、やはり勉強系は敷居が高いというか、よほど興味をそそるようなメニューにしないと集まらないのかなと思つていました。

なので、ちょっとここは、来年度は事業自体も、ちょっと見直すことになると思います。

**山口委員** ありがとうございます。

**小山委員長** あと、みなさんから何かありませんか。

なければ、令和4年度釜石市立鶴住居公民館事業の実施結果はよろしいですか。

(はいの声あり)

それでは次に移ります。

② 令和5年度釜石市立鶴住居公民館事業の概要について

松下館長が別添資料「令和5年度 釜石市立鶴住居公民館事業計画」により説明。

**小山委員長** ありがとうございます。

ただいま事務局から、令和5年度釜石市立鶴住居公民館事業の概要について説明がありました。

みなさんの方から、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

**佐藤委員** 2ページ、4の「地域の中の地域や世代を超えた取り組み」の中の一番上、「うのすまい公民館まつり」について、今年度は作品展示会のみということで、来年度も作品展示会も込みでという計画ですか。

もし可能であれば、ちょっと考えていただきたいことがあって、出品数が10点ということで、なかなかこの時期、県の書写コンクールと学習発表会と重なるために、児童数も減ってきたので、例えば5点とかそのあたりでどうかという、担当から要望の声として上がったものですから、もし考慮していただければ。

**松下事務局長** 作品数を減らしていただきたいということですね。分かりました。

今年度は作品展示会だけだったので、なかったのですが、最後に開催したのは、令和元年度、公民館まつりを開催した際は、小学校の生徒さんたちに合唱していただいた経緯があったようです。

詳細については何も決まっておきませんので、新年度に入ってから、いろいろとご相談させていただくことになりますので、小学校と中学校さん、よろしく願いいたします。

**小山委員長** よろしいですか。

**佐藤委員** はい。

**小山委員長** 内容を見ると継続ばかりなんだけど、新規というのは特に考えてないですか。

**松下事務局長** 今年度ですね、新たに始めたものが結構ありますので、それも含めて継続ということ。

あとは、やってくる中で、何か新しいものが見つかっていくと思いますので、ここには載ってない、運営審議会で諮らないものでも、もしかすると年度途中で、新規で出てくるかもしれないので、その際は、こういう場で、またご説明させていただきます。

**小山委員長** みなさんから何か。新しい年度なので何か。

令和4年度も結構事業がありましたから、更にプラスするのは非常に大変なことになりますけど。

**松下事務局長** あとは、みなさんの方から、こういうのやった方がいいんじゃないかとか、こういうのやって欲しいとかという声があれば、そちらの方も反映させながら考えていきたいと思います。

**小山委員長** 事務局がそう言っていますので、これからでも考えてもらって。

**三浦副委員長** なんか話を聞いていると、小学校、中学校もそうなのかもしれません。子供さんが年々少なくなって、どうするのかなって。本当に寂しいですね。

そして、うちの学校では、高齢者ばかりで、若い人ってそんなにいないんですよ。145世帯ぐらい、現在住んでいる人、世帯あるんですが、若いご夫婦は何人もいないですよ。

まして、学校に来てる子供、少ないでしょ、10人未満でしょ、小学校の方は。どうですか。

**佐藤委員** 箱崎ですか。

**三浦副委員長** 箱崎。前後ですか。

**佐藤委員** そうですね。前後ですね。

**三浦副委員長** だんだん子供が少なくなってくるのに、大丈夫なのかな、このまま行ってどうなるんだろうと思うんですけどね。

何とか対策はないのですかね。若い人が住まないということなんですね、結局。高齢者だけになりましたよ。

**松下事務局長** 結局、震災の後、若い世代がほかの地域に再建して引っ越したっていうのも多いので、そういったところで少なくなってきたと思います。

**小山委員長** 鶴住居で高齢化率40%くらいかな。

**松下事務局長** 40%までは行ってない、30%後半くらいだと思います。

**三浦副委員長** 高齢化でも、独り暮らしが多いんですよ。

**小山委員長** 健康問題の、健康相談とか、そういう事業もあるし、それなら参加するけど、それ以外にはほとんど参加していないように感じています。

そうすると、がらっと事業が健康相談になるよね。いろいろな事業がね。公民館事業でさえ、それの方が多分人気があるというか、参加率が高い。

**瀬戸委員** 大人がいないということは、子供もいないということだもんね。

政府でも1人産んだら100万円くれるとかしてくれれば。

そうすれば、1年、2年はパートで働かなくてもいいわけ。

**三浦副委員長** 釜石の場合は、釜石の中に赤ちゃんを取り上げたりする、婦人科とか小児科みたいなのを、あまり熱を入れないから、若い人たちが戻ってこないもんね。

出産するといっても都会の方でやったり、もう釜石に来たって産婦人科がなくて大変だから。

本当は、国の政策というか、県の政策で、お医者さん最低でも、何科と何科は大

丈夫ですよってというような、そういうの、国の先生方もね、確保することも考えてもらいたいと思う。

だって、赤ちゃんを産むにしても、釜石で産めないから、大船度に行ってくださいとか、宮古に行ってくださいとか、それだから誰も帰ってこない。いくら実家が釜石にあるっていても。

**松下事務局長** お医者さんもなんですが、病院の問題も、県立病院建て直すといっても、建て直すような広い土地もないですし、仮にあったとしても、土地の値段が高いのでなかなか造れないというところもあって、そういうところで、大船渡の方に患者も回されたりというところがあるので。

病院の先生の補充というの難しいのかなと思います。

**三浦副委員長** ますます釜石が取り残されていきます。

**澤本委員** やはり間に合わないから。救急車で一旦県病に行ったとしても、ちょっと無理ですとなって、岩手医大に行く途中で、救急車の中で亡くなる場合もある。

そういうのは、家族にすれば悔しいというよりは何とも言えない、そういう方を実際間近で見たものですから。

**三浦副委員長** 困ったね。

**小山委員長** 令和5年度について何かありますか。何だか市に対する要望みたいになりましたが。

**瀬戸委員** 国に対する要望ね。

**小山委員長** 公民館事業についてではなく、市に対する要望みたいになってしまった。

**瀬戸委員** 公民館事業じゃなく、国に対しての要望になった。

**澤本委員** 国に対してではなくて、私、川目地区なんですけど、川目地区というのは日の神橋をかって、栗林の方に近い所なんですけど、学校区って広いと思うんですけど、この鵜住居って。

その中で、よく学校の先生方も、学校をよくやってくれているなと思うんですけど、実は川目の住民として、どうしてもスクールバスを利用できないんです、川目地区は。

それで、前にも議会で質問していたことがありますが、やはり通学路がどうしても危ない。危ないというのかな、危険なんです、真っ暗で。

2学期になったら、5時っていったら人気もないし、街灯が無い状態で、中学校になれば自転車通学になるんです。

学校の方では通学路の点検で、5月ぐらいに先生方が歩いて来るんですね。

でも、1番危ない時期は5月じゃないです。10月以降なんです。

2学期がどうしても5時ぐらいに、自転車で歩かなければならないから、本当に暗くなって心配。

それと、凍結が始まれば、道路は融雪剤撒きますが、歩道は撒かない。そうすると橋の上下はアイスバーン状態となります。

私の息子は50になるのですが、その頃から、この通学方法は危ないと思ってい



るんです。

未だに、何回かこういう席でお願いはしているんですが、実は何も取り上げられたことないんです、今まで。

だから、今度は孫が中学に上がるのですが、3年間、やはりもう心配、心配なんですね。

男の子だから、何とか頑張るのかなと思いますが、うちだけの問題じゃないんです。これ、川目町内会全体の問題なんです、常にそういう話が町内会では出るんですが、その先が行かない状態で何十年きてるんですが、今ちょうど校長先生方が来てますし、あと市の方からも来てますから、こういう席でそういう意見があるってことを。

本当に、昔はスクールバスも満杯で、子供たちの数が凄かったのも、だから乗れないってことは分かったんですが。

でも、今は本当に空いてる状態のスクールバスですから、せめて、川目の町内の子供たち、5人かそのぐらいなんです。だからせめて2学期、中学校は2学期だけでもいいから、2学期、3学期利用させてもらえれば、親はどんなに安心するだろうなと思うものですから。

この席で、筋違うかもわかりませんが、お願いしたいなと思いました。

小学校に上がる時は震災の関係で、スクールバス利用させてもらってますけれども、中学校に上がるともう利用できませんので。

本当に事故がなく、今まで何十年って事故がなかったから、これでよかったなと思いますけど、多分、先生方も1回歩いてみればわかると思うんです。自転車で寒い時に。アイスバーンになっていますので。

ぜひ、こういう意見もあったなと、よろしくお願ひしたいと思います。

**小山委員長** 先生も、学校の方も大変だと思うけど、やはり住民とするとねえ。

**澤本委員** 朝は親たちが乗せて来るんですけど、帰りは今度バスがないんです。市内のバス路線がないですし、コミュニティバスしかないですよ。で、コミュニティバスっていうのは、バスカードとかは使えないですよ、必ず現金なんですよ。

だからそういうのも踏まえまして、何とか検討してもらえればなと思っているんですが。

よろしくお願ひしたいと思います。

**小山委員長** すみませんが、大変でしょうけど。

**佃委員** いやいや、大変なことは何もないですよ。

**澤本委員** 先生、こういう意見があったなということで、もし機会があれば検討してもらえれば凄くありがたいです。

**佃委員** 分かりました。

**澤本委員** すみません。すみません。すみません。

**三浦副委員長** これは大事な問題だと思うよ。

**瀬戸委員** 女の子だったら送り迎えは必須。家族がいたからできた部分もあるんですよ、今までは。

**小山委員長** そのほか、何かありますか。

ありませんか。

なければ、令和5年度の公民館事業の概要については、よろしゅうございますか。

(はいの声あり)

それでは、次に入りたいと思います。

③ その他

**小山委員長** 別途みなさんで、事務局に何かありますか、その他で。

よろしいですか。

事務局の方で何か、その他ありますか。

**松下事務局長** 特に用意はしておりませんでしたが、公民館だよりなんです、今は毎月15日発行ということでやっているんですが、15日の号にすると、どうしても公民館事業等が月の後の方にあたりして、申込期間が少なくなるってことで、可能であれば4月から1日発行にしたいなということで、今進めているところでした。

で、小学校さんの方で偶数月かな、学校だよりの方、こちらにお持ちいただいているんですが、4月から1日号に変われば、持ち込んでもらう時期が変わるかもしれないので、その際はお知らせいたします。

**佐藤委員** いくらいになります。1日号だと、もうちょっと後くらいですか。

**松下事務局長** 1日号だと、今は15日号なので10日あたりまでに持ってきてもらっている感じですが、それが20日あたりまでに持ってきてもらうことになるかなと思います。

**佐藤委員** はい。

**小山委員長** 事務局、それでいいですか

**松下事務局長** はい。

**小山委員長** あと、みなさん、言い忘れたこと等あれば。

ないですか。

なければこれで終了したいと思います。

今日は大変、議事進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しします。

**松下事務局長** はい、小山委員長どうもありがとうございました。

本日の日程は以上で終了となります。

それでは、令和4年度 第2回鶴住居公民館運営審議会を終了いたします。

次回の運営審議会は、5月頃開催の見込みで、令和5年度釜石市立鶴住居公民館事業実施計画について、ご審議いただきたいと考えておりますので、よろしく願います。

本日は、ご多忙のところどうもありがとうございました。

お疲れ様でした。

